

ごあいさつ

近年、自分の健康維持や気分のリフレッシュのために散歩をする方、あるいは仲間と交流を図りながら楽しくウォーキングする方が増加しています。歩くことは体の代謝を活発にし、病気にかかりにくい体质にすることも言われています。

そこで松伏町の豊かな自然や文化財を巡りながら、町の推奨特産品を買ったり、食べたりすることができる8つのコースを選定し、皆さんに「まつぶしウォーキングマップー」として紹介いたします。

ぜひ、この冊子を片手に、お好きなコースをウォーキングしてみてはいかがでしょうか。きっと今まで知らなかった松伏町に出会えることでしょう。

そして、この「まつぶしウォーキングマップー」が、皆さまの健康づくりや町外からいらっしゃる方々の「まつぶしの観光ガイド」としてもお役に立てる事を願って、発行のあいさつとさせていただきます。

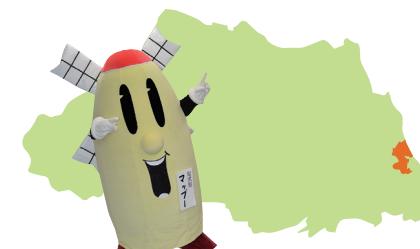


松伏町ってこんなところ

～笑顔が未来に広がる 緑あふれるみんなのまち！～

地勢

松伏町は、埼玉県東南部の首都圏30km圏内に位置し、東は千葉県野田市、南は吉川市、西は越谷市、北は春日部市に隣接しています。住宅地や都市公園などの都市的景観と水田や点在する屋敷林などの田園風景が調和する美しい町であり、大落古利根川、中川、江戸川の一級河川が町全体を「川」の字のように流れる水資源豊かな「川のまち」でもあります。



町のデータ

面積	: 16.22km ²
海拔高度	: 4.2m~14.0m
最長距離(東西)	: 4km
最長距離(南北)	: 7.5km
人口	: 30,832人
世帯数	: 11,557世帯

平成26年1月1日現在

歴史

○松伏町の名の由来

「まつぶし」という地名の由来には2説あります。ひとつは、巷説に、中世末期に松伏に移住した石川民部家が移植させた松の樹形が伏せ松であったから、とする説です。もうひとつは地形由來說で、「ぶし」とは河川が形成した自然堤防地形を意味し、松の生えた「ぶし」が地名の起りとなったといいます。

原始・古代

中世

近世

近・現代

台地になっている築比地地区には、縄文時代の遺跡が数多く存在します。少なくとも1万年ほど前から、人々が生活を営んでいました。

中世期、現在の松伏町域は下総国下河辺荘（しもこうべのしょう）に属し、古利根川が武藏国と下総国の境界となっていました。

江戸時代、現在の松伏町域は江戸幕府直轄地でした。松伏、田島、大川戸、上赤岩、下赤岩の5つの村は武藏国松伏領に属し、金杉、築比地、魚沼の3つの村は下総国庄内領に属しました。

明治22年、旧武藏国松伏領の5つの村が合併し北葛飾郡松伏領村が、旧下総国庄内領の3つの村が合併し中葛飾郡金杉村がそれぞれ成立しました。昭和30年、両村が合併して松伏領村となり、翌31年に松伏村と改称、昭和44年に町制を施行して松伏町となり、現在に至ります。

松伏町で見られる花



3月～4月頃
からし菜

4月頃
さくら

5月頃
ポピー

10月頃
コスモス

まつぶし町民まつり

毎年10月に松伏記念公園で開催されます。

※詳しい日時は松伏町ホームページをご覧ください。

